

2024年6月

ArcGIS Online 実装ガイド

ArcGIS Onlineの設定に関する基本的なタスクとベストプラクティス



タスクのチェックリスト

タスク	完了
1. ArcGIS Online の探索	
2. サブスクリプションの有効化	
3. ホーム ページの設定	
4. グループの作成	
5. メンバーの追加	
6. コンテンツの作成	
7. 詳細	



1. ArcGIS Online の探索

ArcGIS Online へようこそ。GIS の経験がほとんどあるいはまったくなくても大丈夫です。Esri のク ラウドベースのマッピングおよび解析ソフトウェアを開始するのに遅すぎるということはありませ ん。ArcGIS Online を使用すると、人々、場所、データをつなげることができます。対話型マップ を作成して、データを視覚化し探索します。解析ツールを利用して、データのストーリーを発見お よび調整できます。データのストーリーを伝え、変化に影響を及ぼすマップを共有します。

ArcGIS Online を設定する前に、いくつかの簡単なガイド付きチュートリアルを通じて、マッピン グと解析の基礎についての理解を深めましょう。

次のチュートリアルを行うことで、それぞれの実行方法を学びます。

- ArcGIS Online を使用したパリの探索。ArcGIS Online でのマップの操作と作成の基礎を説 明します。
- マップの共有。レクリエーション施設のマップを共有します。
- **アプリの作成**。Web マップを使いやすくするアプリを構成および共有します。
- 徒歩時間マップの作成。10分、15分、および20分の徒歩時間エリアのマップを作成する 方法について学習します。
- シーンの作成。3D Web シーンを作成して、市議会の計画を説明します。
- データの基礎。ArcGIS Online でサポートされているデータレイヤーの主なタイプと、その データレイヤーでできることについて説明します。
- **はじめての** ArcGIS Online。ハリケーンの到来に備えて、避難マップを作成して共有します。

マッピングと解析のチュートリアルの開始

2. サブスクリプションの有効化

ArcGIS Online サブスクリプションを購入すれば、組織にとって有用な方法でサイトを構成することができます。たとえば、セキュリティおよび共有のポリシーを設定したり、必要な作業に基づいてメンバーに権限とクレジットを割り当てたり、自社のブランドが反映されるようにホームページとギャラリーを構成したりできます。組織の ID 管理システムを統合することもできます。

主要コンポーネント

ArcGIS Online のサブスクリプションには次の主要コンポーネントが含まれます。

ホーム ページ-ホーム ページは、組織サイトの第一印象に大きな影響を与える可能性があります。 人の関心を引くバナーや独自のロゴを含めたり、最高品質のマップとアプリを注目のコンテンツと して表示したり、ユーザーが組織サイトを最大限に活用できるように説明、リンク、リソースを表 示したりすることができます。

グループ-グループは、特定のプロジェクト、ワークフロー、イニシアティブをベースに組織のメンバーおよびコンテンツを整理する方法の1つです。組織の構造に基づいて特定のアイテムへのアクセスを許可するグループを設定できます。グループを利用することで、他の組織のメンバー間でのコラボレーションも可能になります。

メンバー - ArcGIS Online に新しくメンバーを追加するには、招待する方法と、直接追加する方法があります。メンバーは、一括で追加することも、一度に1人ずつ追加することもできます。メンバーに代わってメンバーのアカウントを設定するか、メンバーが自分で自身のアカウントを作成できるようにするか、既存の組織特有のログインシステムを使用できます。

コンテンツ - ArcGIS Online のコンテンツには、マップ、アプリ、レイヤーなどがあります。また、 作成したコンテンツの保存、カテゴリ化、編集、共有を行うためのリソースも提供しています。

これらのコンポーネントが連携して、組織の要件を満たす ArcGIS Online の操作環境を形成しています。

ヒント

ArcGIS Online を設定するときは、次の項目を決定する必要があります。

ArcGIS Online サイトの名前 - ホーム ページのバナーに表示される組織名です。組織または ArcGIS Online サイトの目的を正確に表現する特徴的な名前を選択します。

ショート ネーム - このショート ネームは ArcGIS Online サイトの URL リンクに表示されます (例: sample-org-name.maps.arcgis.com)。使用する名前について慎重に検討してください。この名前を 後で変更することはできますが、場合によっては、一部のコンテンツの URL を手動で更新する必要 があります。

管理者の問い合わせ先 - 問い合わせ先として複数の管理者を設定することを検討してください。メ ンバーがパスワードのリセットをリクエストするか、ユーザー名、アカウントの変更、アカウント へのクレジットの割り当てに関する問題についてのヘルプをリクエストすると、ArcGIS Online か ら自動的に送信される電子メールに、これらの管理者とその電子メール アドレスが表示されます。 また、管理者の問い合わせ先には、サブスクリプションに関する電子メール通知も届きます。

サブスクリプションの有効化方法の詳細

3. ホームページの設定

まず、組織の要件を満たすように ArcGIS Online を構成します。たとえば、メンバーが組織サイト 外のコンテンツを検索および共有できるかどうかを指定できます。組織の URL の設定など、一部の 構成は、サブスクリプションの有効化の一部として実行されます。使用を開始するときは、ホーム ページの外観とサイトのセキュリティ設定を中心に作業を進めます。

外観のカスタマイズ

組織のブランドについて検討し、サイトでブランドを最も適切に表示する方法を判断します。効果 的なホーム ページを作成するための推奨事項には次のようなものがあります。

- プロフェッショナルなデザインできちんと整理されたホームページを作成します。カスタムのバナーとロゴを使用し、サイトの目的を説明します。
- ホームページで最高品質のマップとアプリを注目のコンテンツとして紹介します。

ホーム ページの設定方法の詳細

セキュリティに関する考慮事項

ArcGIS Online は、セキュリティ、信頼性、および柔軟性に優れたサイトです。組織にとって有用 なプライバシーとセキュリティ制御を構成することができます。たとえば、パスワードの長さ、複 雑度、および履歴の各要件を含むパスワード ポリシーを構成できます。メンバーに組織サイト外の コンテンツの共有を許可するか、組織内での共有のみを許可することができます。また、組織特有 のログインや多要素認証を設定することもできます。

ArcGIS Online 組織、データ、その他すべてのアセットへのアクセスは、HTTPS 接続のみにする必要があります。これは、情報を保護するための方法です。

セキュリティ ポリシーの設定方法の詳細

また、Trust ArcGIS にアクセスして、セキュリティ、プライバシー、およびコンプライアンスに関する詳細を確認することもできます。

4. グループの作成

グループは組織の構造を作成し、組織のメンバーや一般ユーザーと共有するアイテムを整理する方 法の1つです。グループ管理者からの招待のみで加入できるプライベートグループ、またはすべて のユーザーが参加できるパブリックグループを設定できます。ワークフローをサポートし、完成し たコンテンツが対象ユーザーと共有されることを確実にするツールとしてグループを使用できま す。たとえば、プロジェクトに関連するアイテムに関して作業グループとブロードキャストグルー プを作成できます。作業グループは進行中の作業を共有するためのプライベートグループとして使 用でき、ブロードキャストグループは完成したコンテンツをすべてのユーザーと共有するためのパ ブリックグループとして使用できます。

また、ホーム ページやギャラリーで注目のコンテンツを表示したり、ベースマップやアプリのカス タム ギャラリーを構築したりするためにもグループを利用できます。

組織を設定するときにグループを作成すると、組織のメンバーとコンテンツをグループに追加して 整理することができます。

グループの作成方法の詳細

共同作業

コラボレーションは、各組織が連携しながら、グループを通してコンテンツに取り組むことができ る信頼関係です。パートナー コラボレーションと分散コラボレーションでは、さまざまな方法で マップ、アプリ、レイヤーなどを他の組織と共有することができます。

コラボレーションの詳細



5. メンバーの追加

ArcGIS Online は、メンバーの組織への追加に柔軟に対応できるシステムです。メンバーは、自動 的に追加されるようにすることも、組織に加入するよう招待することもできます。一度に 1 人ずつ メンバーを追加および招待するか、ファイルをアップロードして一括でメンバーを追加および招待 できます。既存の組織特有のログイン システムを有効にするか、メンバーのアカウントを自分で設 定するか、メンバーが自分で自身のアカウントを作成できるようにすることができます。また、招 待プロセスの一部として、ユーザー タイプとロールを指定して、作成したグループにメンバーを割 り当てることができます。

メンバーの追加方法の詳細

ベストプラクティス

以下に、メンバーを追加する場合のベスト プラクティスを示します。次に示すタスクのほとんどは 招待プロセスの一部として実行できます。

- 組織特有のログインの構成 Okta や Google Workspace のような組織特有のログイン シス テムを使用している場合は、SAML または OpenID Connect ログインを使っているメンバー を追加します。これにより、メンバーは、ArcGIS アカウントを新規に作成する代わりに、 既存のログインを使って ArcGIS Online にサイン インできます。
 ログインの構成方法の詳細
- ユーザータイプの割り当て メンバーの権限とアプリは、ユーザータイプによって決まります。チームの作業方法に合ったさまざまなユーザー タイプがあります。ユーザー タイプは、メンバーのニーズおよび要件に基づいて割り当てます。たとえば、Creator タイプにはArcGIS Online のすべての機能および大部分のアプリへのアクセス権限が付与されますが、これに対して Viewer タイプは自分自身と共有されているアイテムしか表示できず、少数のアプリへのアクセス権限が付与されます。 ユーザータイプの詳細
- ロールの選択 それぞれのメンバーに必要な権限を検討してください。デフォルトロールを 通じて権限を割り当てたり、ロールに含める特定の権限に基づいてカスタム ロールを作成 したりできます。サブスクリプションごとに少なくとも1つの管理者ロールが存在している 必要があります。

カスタム ロールの構成方法の詳細

- グループへのメンバーの自動追加 メンバーに加入してほしいグループを指定します。メン バーシップのリクエストや招待の受理を必要とせずに、メンバーが自動的に追加されます。
 グループへのメンバーの追加方法の詳細
- クレジット使用制限の設定 メンバーのクレジット使用量を管理するために、空間解析などのトランザクションベースのサービスおよびツールでメンバーが使用できる規定のクレジット数を設定します。
 クレジット使用制限の設定方法の詳細
- Esri アクセスの管理 サポート、トレーニング、フォーラムなどの他の Web リソースを使用したり、Esri からの電子メール連絡を管理したりする必要があるメンバーに対して Esri アクセスを有効化します。
 Esri アクセスの有効化方法の詳細
- アドオンライセンスの管理 各ユーザー タイプには、特定のアプリへのアクセス権が含まれています。割り当てられたユーザー タイプに設定されていないアプリは、必要に応じて、アドオン ライセンスとして特定メンバーにライセンス付与し、割り当てることができます。
 ライセンスの管理方法の詳細

- メンバーの分類 組織内のメンバーを部門、場所、専門知識などの特性に応じて整理および フィルタリングするための階層カテゴリを設定します。
 メンバーカテゴリの設定方法の詳細
- 新しいメンバーのデフォルト設定 組織に新しいメンバーを追加する際に、デフォルトで割り当てるメンバーのプロパティを指定します。ユーザー タイプ、ロール、クレジットの割り当て、グループなどのプロパティを構成できます。
 新しいメンバーのデフォルト設定方法の詳細

6. コンテンツの作成

ArcGIS Online には、マップ、シーン、アプリ、ノートブック、およびレイヤーの作成および共有 に必要なものすべてが用意されています。スプレッドシートや ArcGIS Server サービスなどの既存 のコンテンツを追加したり、マップ、アプリ、ホスト Web レイヤーなどのコンテンツを作成したり できます。

最適なユーザー エクスペリエンスを実現するにはどのような方法でコンテンツを使用して最適化す るかを検討してください。たとえば、適切な透過表示、縮尺範囲、およびラベルによってレイヤー を調整したり、マップ内にポップアップを構成したり、アクセス プロパティと編集プロパティが異 なるフィーチャ レイヤーの複数のビューを作成したりします。

完全な詳細情報を含めて、アイテムの検索と使用を容易にします。アイテムを、信頼性が高いと宣 伝し、検索結果で上位に表示されるようにする場合は、信頼できるとしてアイテムを指定します。 コンテンツが見つけやすくなるように、組織とグループ向けにコンテンツのカテゴリを設定しま す。

ヒント

- ベースマップをデータと組み合わせてマップを作成します。スマート デフォルトを適用して、マップのスタイルをすぐに設定できます。
 マップの作成方法の詳細
- ArcGIS Online には、専門的な Web アプリの作成に役立つさまざまな種類のテンプレート およびウィジェットが用意されています。 アプリの作成方法の詳細
- マップやアプリでデータの収集に使用するレイヤーを作成するには、複数のテンプレートの 中から選択します。
 フィーチャレイヤーの作成方法の詳細
- ArcGIS Online にコンテンツを保存または追加すると、そのコンテンツはアイテムとしてマイコンテンツに格納されます。マイコンテンツでは、すべてのアイテムを検索したり、アイテムタイプや日付などのフィルターを使用して参照したりできます。 アイテムの追加方法の詳細

- すべてのコンテンツには、追加の詳細を表示するアイテムページが関連付けられています。このページでは、アイテム設定を変更したり、アイテムを操作するその他のオプションにアクセスしたりすることもできます。
 アイテムページの使用方法の詳細
- コンテンツのカテゴリを使用して、グループ コンテンツと組織全体のコンテンツを整理します。
 コンテンツのカテゴリの設定方法の詳細
- コンテンツをグループ、組織、またはすべてのユーザーと共有します。
 コンテンツの共有方法の詳細
- マップがソーシャルメディアで取り上げられ、非常に多数のユーザーに同時に閲覧される ようになると、マップをできるだけ速く読み込めるようにする必要があります。
 需要が多いマップの最適化方法の詳細



7. 詳細

管理者は ArcGIS Online を設定する役割を果たします。同様に、メンバー、アイテム、およびグループをメンテナンスし、組織のデータを整理して最新の状態に維持することも重要です。このセクションで提供するリソースは、これらのメンテナンスタスクに役立ちます。また、これらのリソースは ArcGIS Online の詳細情報を確認するためにも利用できます。

アクティビティの監視

アクティビティ ベースの各種指標およびリアルタイムの使用状況レポートにアクセスすると、コン テンツとメンバーの監視に役立ちます。対話形式のダッシュボードには、組織サイトのクレジット 使用量、メンバーのステータスとアクティビティ、コンテンツ使用量、アプリ、グループの詳細が 表示されます。また、組織のメンバーやアイテムの詳細なレポートを作成、エクスポート、保存す ることもできます。

レポートの使用方法の詳細

クレジット使用量

ArcGIS Online は有料のサブスクリプション サービスです。Esri は、通貨として機能するクレジットを各サブスクリプション サービスに割り当てます。クレジットは、特定のコンテンツ、解析機能、およびデータ格納を利用するときに使用します。クレジット使用制限を有効化することで、空間解析などのトランザクションベースのサービス/ツール用のクレジットを管理できます。組織の一部またはすべてのメンバーにクレジットを柔軟に割り当てたり、新規のメンバーに対してデフォルトのクレジット割り当てを設定することができます。

クレジット使用量の詳細

参考資料

- ArcGIS Online ヘルプは、ソフトウェアの一般的な使用方法や特定のタスクの実行方法を理解するための重要なリソースです。これには、組織サイトの管理のベスト プラクティス、新機能、トラブルシューティング、および FAQ も含まれます。
- ドキュメント ギャラリーには、ArcGIS についての学習に役立つガイド付きチュートリアルのコレクションがあります。さらに、具体的なテーマについての関連リソースのチュートリアルシリーズも含まれています(管理など)。
- Esri Academy には、ArcGIS Online 組織の管理方法を十分に理解するのに役立つ講師指導 コース、ウェビナー、学習計画、その他のトレーニング リソースが用意されています。

- Esri を含む GIS コミュニティは、ArcGIS Living Atlas of the World ですぐに使用できる数千 もの高信頼性のデータセットを共有します。ArcGIS Living Atlas は、過去の国勢調査データ から、オンラインのセンサー ネットワークや地球観測から得られた環境条件に至るまで、 あらゆる情報をカバーしています。
- ArcGIS API for Python は管理タスクを円滑に進め、維持するのに役立ちます。たとえば、この API を使用して、マイコンテンツ内にフォルダー構造を設定できます。さらに、この API を使用すると、サービスまたはアプリアイテムの URL を更新することもできます。
- ArcGIS Marketplace には、管理タスクをサポートするために Esri パートナーから提供され たソリューションが含まれます。
- サービスの可用性に関する最新情報を ArcGIS Online Health Dashboard から取得できます。

FAQ

サブスクリプションの購入前に ArcGIS Online を試してみることができますか?

はい。まだアカウントを持っていない場合は、無料 ArcGIS トライアルを取得できます。ArcGIS トライアルでは、トライアル版組織サイトの管理者になります。トライアルの終了時にサブスクリプションを購入すると、引き続き組織サイトと作成したコンテンツを使用することができます。

メンバーまたはクレジットをさらに追加できますか?

はい。ArcGIS Online サブスクリプションは、組織に合わせて拡張できます。いつでもメンバーまたはクレジットを追加できます。

その他の質問に対する回答はどこで入手できますか?

ArcGIS Online の「FAQ」をご参照いただくか、Esri コミュニティのディスカッションをご確認い ただくか、Esri にお問い合わせください。